

令和 年 月 日

陳述書

住所

氏名

私は、日向市在住の60代の会社経営者です。妻と子供一人おりますが、今は二人とも仕事の関係で県外に住んでいて、普通は、一人で生活しています。ここ数年コロナ禍の影響で会社経営は厳しく、売上、利益ともにコロナ禍前の半分程度しかありません。同様な厳しい状況は私だけではなく、私の周囲は似たような状況があり、皆明日の生活のことを心配しなければならないほど余裕がありません。

今年の9月、私の知人が「大王谷市営プールが取り壊されるらしい。解体工事の中止を求める署名活動をしているので協力して欲しい。」と言うので、賛同して署名しました。なぜなら、日向市が、多くの市民に愛されている市営プールを壊して、その跡地に42億円もかけて体育館を造ろうとしていたからです。私の周囲で、この馬鹿げた市民無視の計画に賛成している者は一人もいません。

その差止訴訟を提起した黒木紹光氏が、今度は、宮崎県議会を提訴したということを知り、訴状と陳情書を読みました。読んでみて、とにかく呆れ、怒りがこみ上げました。コーソクの億を上回る県税脱税を宮崎県と宮崎県議会が、揃って黙認したとは正直信じられませんでした。しかも、4年半以上も放置してきたとは、あまりに常識では考えられなくて、思考停止状態に陥りました。訴状と陳情書を読む限り、ほぼ事実であることが容易にわかります。

私は、一県民として、提訴に賛同し、意見を言わなければならないと思いました。なぜなら、本来県議会がやるべき県政のチェックを、黒木紹光氏が、たった一人で命がけでやってきたことに対して、とても他人事ではいられないと考えた

からです。訴状と陳情書に書かれていることは、私達が毎日のように見せられる腐敗政治のニュースと比較しても、より以上ではないかと思える腐敗ぶりです。もう、これを読むと、何もかも信じられなくなります。

私が最も言いたいのは、県議会議員の無責任さ、倫理道德の欠如です。よくこれで、平気で高額の報酬を受け取れるものだと思います。39名の県議会議員は良心はないのでしょうか。黒木紹光氏の陳情は、当然すぎる内容であり、にもかかわらず、なぜ県議会は7度に渡って無視したのでしょうか。なぜ、県議会議員は、黒木紹光氏に協力しなかったのでしょうか。

裁判では、その理由を明らかにして、県議会に大至急対応を求めて欲しいと思います。また、県議会は、県民に説明し、この責任をどのように果たすのか、明確にすべきと思います。そのためには、県議会において、百条委員会を設置することを求めます。百条員会であれば、証人の出頭義務及び真実を証言する義務などの法的拘束力があるので、必然的に真実が明らかにできます。われわれ宮崎県民にすべての真実を明らかにすべきです。

もちろん、河野知事が辞任することは避けられず、できるだけ早く、河野知事に代わって新しい知事が宮崎県を立て直して欲しいと思います。

以上